

公 示

独立行政法人国際協力機構（以下「機構」という。）がコンサルタント等との業務実施契約に基づき実施する案件を公示します。

これら案件の選定に当たっては、企画競争（プロポーザル方式）を採用します。

プロポーザル作成に係る企画競争説明書を各案件の公示において指定する日から配布しますので、応募のためのプロポーザル作成に当たっては、同企画競争説明書に基づき、当機構ホームページで公開している「プロポーザル作成ガイドライン」に従って作成願います。

なお、公示に関する照会は調達部（Tel：03-5226-6612）あてにお願いします。

2018年12月19日

独立行政法人国際協力機構
本部契約担当役 理事

【1. 競争参加資格（プロポーザル提出の資格）】

(1) 以下のいずれかに該当する者は、JICA契約事務取扱細則（平成15年細則（調）第8号）第4条に基づき、競争参加資格を認めません。

- 1) 破産手続き開始の決定を受けて復権を得ない者
- 2) 「独立行政法人国際協力機構反社会的勢力への対応に関する規程」（平成24年規程（総）第25号）第2条第1項の各号に掲げる者
- 3) 「独立行政法人国際協力機構契約競争参加資格停止措置規程」（平成20年規程（調）第42号）に基づく契約競争参加資格停止措置を受けている者

(2) JICA契約事務取扱細則第5条に基づき、以下の資格要件を追加して定めます。

- 4) 平成28・29・30年度全省庁統一資格を有すること。同資格を有していない場合は機構の「簡易審査」を受けていること。
- 5) その他個別案件の公示の「3 条件等」において規定されている要件を満たしていること。

【2. 企画競争説明書の配布】

企画競争説明書及び配布資料等の配布は、全省庁統一資格を有している法人（JICAの簡易審査申請中の法人を含む。）のみを対象として、電子データをダウンロードする方法で行います。

詳しくは、機構ホームページ「業務指示書等の電子配付について【コンサルタント等契約】」

（<https://www.jica.go.jp/announce/notice/distribution.html>）を参照願います。

【3. 情報の公開について】

本公示により、プロポーザルを提出するコンサルタント等においては、その法人、個人、団体名を、コンサルタント等契約情報として機構ホームページ上に原則公表しますのでご承知下さい。

また、本公示により契約に至った契約先に関する情報を機構ホームページ上で公表することとします。本内容に同意の上で、プロポーザルの提出及び契約の締結を行っていただきますようお願いいたします。

なお、プロポーザルの提出及び契約の締結をもって、本件公表に同意されたものとみなさせていただきます。

具体的には、「公共調達の適正化について」（平成18年8月25日付財計第2017号）に基づき、下記リンクのとおり契約に係る情報を公表します。

（<http://www.jica.go.jp/announce/proper/domestic/index.html>）

また、下記（1）に該当する場合は右リンクのとおり契約に係る情報を公表します。

（http://www.jica.go.jp/disc/keiyaku_0701.html）

(1) 公表の対象となる契約相手方（共同企業体を結成する場合は共同企業体の構成員を含む。）

次のいずれにも該当する契約相手方を対象とします。

- ア．当該契約の締結日において、当機構で役員を経験した者が再就職していること、又は当機構で課長相当職以上の職を経験した者が役員等（注）として再就職していること
注）役員等とは、役員のほか、相談役、顧問その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言することなどにより影響力を与え得ると認められる者を含む。

イ．当機構との間の取引高が総売上又は事業収入の3分の1以上を占めていること

(2) 公表する情報

契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約相手方の氏名・住所、契約金額とあわせ、次に掲げる情報を公表します。

ア．対象となる再就職者の氏名、再就職先での現在の職名、当機構での最終職名

- イ．契約相手方の直近3カ年の財務諸表における当機構との取引高
 - ウ．契約相手方の総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引割合
 - エ．一者応札又は応募である場合はその旨
- (3) 当機構の役員経験者の有無の確認日
当該契約の締結日とします。
- (4) 情報の提供
契約締結日から1ヶ月以内に、所定の様式にて必要な情報を提供頂くことになります。

番号： 180573
国名：パレスチナ 担当：人間開発部
案件名：理数科教育の質改善プロジェクト

1 選定プロセス

- (1) 企画競争説明書等配布依頼書受付期間：2018年12月19日から2018年12月25日12：00まで
受付時期が遅れる場合は、当機構ウェブサイトにて告知します。
配布方法はウェブサイト「業務指示書等の電子配布について」を参照願います。
(<https://www.jica.go.jp/announce/notice/distribution.html>)
- (2) 企画競争説明書等ダウンロード期間：2018年12月19日から2018年12月25日23：59まで
上記期間であれば、ダウンロードは土日祝日を含め、24時間可能です。
- (3) プロポーザル提出：2019年1月11日12：00まで
提出場所はJICA本部 1F 調達部受付です。
- (4) 選定結果通知（予定）：1月中旬
- (5) 契約交渉（予定）：1月下旬～2月上旬

2 業務の内容

【案件の目的】

本案件は、生徒中心型のカリキュラム・教科書を導入したばかりのパレスチナにおいて、初等理数科の授業を効果的に実施するための研修などを通して、児童・生徒の創造性、批判的思考力を含む学力の向上に寄与するもの。

【業務の内容】

本案件は二段階方式を採用しており、3年6ヶ月の協力期間のうち、本業務では1段階目にあたる最初の1年の業務を実施する（2段階目の業務は再度調達を行う）。

本業務は、期間の前半において2つの分析業務（パレスチナの理数科授業のビデオ分析：2019年3-4月に現地で授業撮影、5-7月に国内再委託での分析を想定。学習達成度の分析：2019年3-4月に試験問題開発と試験実施、5月に分析を想定）と並行して、視学官中央研修やクラスター型教員研修等の既存の理数科教員職能開発活動の観察・情報収集と必要に応じた技術支援を行う。

期間の後半では、前半に実施した分析等の結果を基に、児童・生徒の学力向上に有効な介入策を幾つか立案・試行し、2段階目で完成させる介入モデルの元となる施策を探索する。

なお、授業分析は、算数・数学教育および理科教育それぞれの高度な専門性が求められることから、大学教授や研究機関等への再委託を推奨する。分析手法については、定性的、定量的を問わず、パレスチナの理数科授業の特徴や課題を把握するために有効と思われる分析手法等があれば提案を歓迎する。

学習達成度の分析に関しては、1学年から9学年までの算数・数学および理科における、生徒の理解度の把握に加えて、各教科の主要な内容に関する誤概念やつまづきの診断を主たる目的として実施する。なお、これらの分析に必要なとされるデータはパレスチナ側に存在する可能性もあるが、そのデータの実際の精度・質に関しては不明であり、プロジェクトにて別途診断テストを作成・実施する必要が高いと想定される。

3 条件等

(1)参加要件

特になし。

日本国で施行されている法令に基づき登記されている法人であること。

(2)参加の制限

特になし。

4 契約期間（予定）

2019年2月下旬～2020年2月下旬

5 想定人月（予定）

16.28 M/M

以上